

東日本ユニオン

組織通信

J R 東日本労働組合

組織通信 発責：組織部

2017年7月10日 No.58

揺るぎない団結のもとで、全組合員と共に闘う方針を確立



第5回定期大会

7月8日、ホテルラングウッドにおいて「第5回定期大会」を開催しました。大会には200名を超える組合員が結集し、全大会代議員の出席のもと、安全の確立をはじめ、2017春闘、組織強化・拡大、労働条件の向上にむけた取り組みなど、一年間の運動の総括を行い、さらなる組織の前進と「JR発足30年 あらゆる労働条件・労働環境の総点検行動」を通じた問題解決にむけて、向こう一年間の闘う方針を確立しました。

一年間の実践と示唆に富む発言で方針がさらに補強される



質疑では全12地本13名から発言があり、組織拡大の実践と教訓が語られたほか、全組合員参加の運動を通じた「JR労働運動の大同団結・一元化」にむけた職場からの闘いも報告されました。

また、東日本ユニオンの将来を見据えた発言も多く出されました。組合員一人ひとりの歴史や想いと、今ある東日本ユニオン組織を次代につなぐためにJR連合や地域共闘との関係強化を求める発言のほか、東日本ユニオン組織のあり方に関する発言も出されました。

さらに、各システムで進む効率化施策の問題や「エルダー社員制度」に関する問題についても発言があり、この一年間の実践と示唆に富んだ発言によって、運動方針がさらに補強されました。

執行部答弁ののち、提起したすべての議案を満場一致で採択するとともに、東日本ユニオン運動を次代につなぐ新たな中央執行体制を選出しました。

第5回定期大会は、秋田地本選出の松橋議長による円滑な進行とすべての組合員の力によって成功裏に終わりました。

